

練馬区
災害時における医療救護班等
活動マニュアル

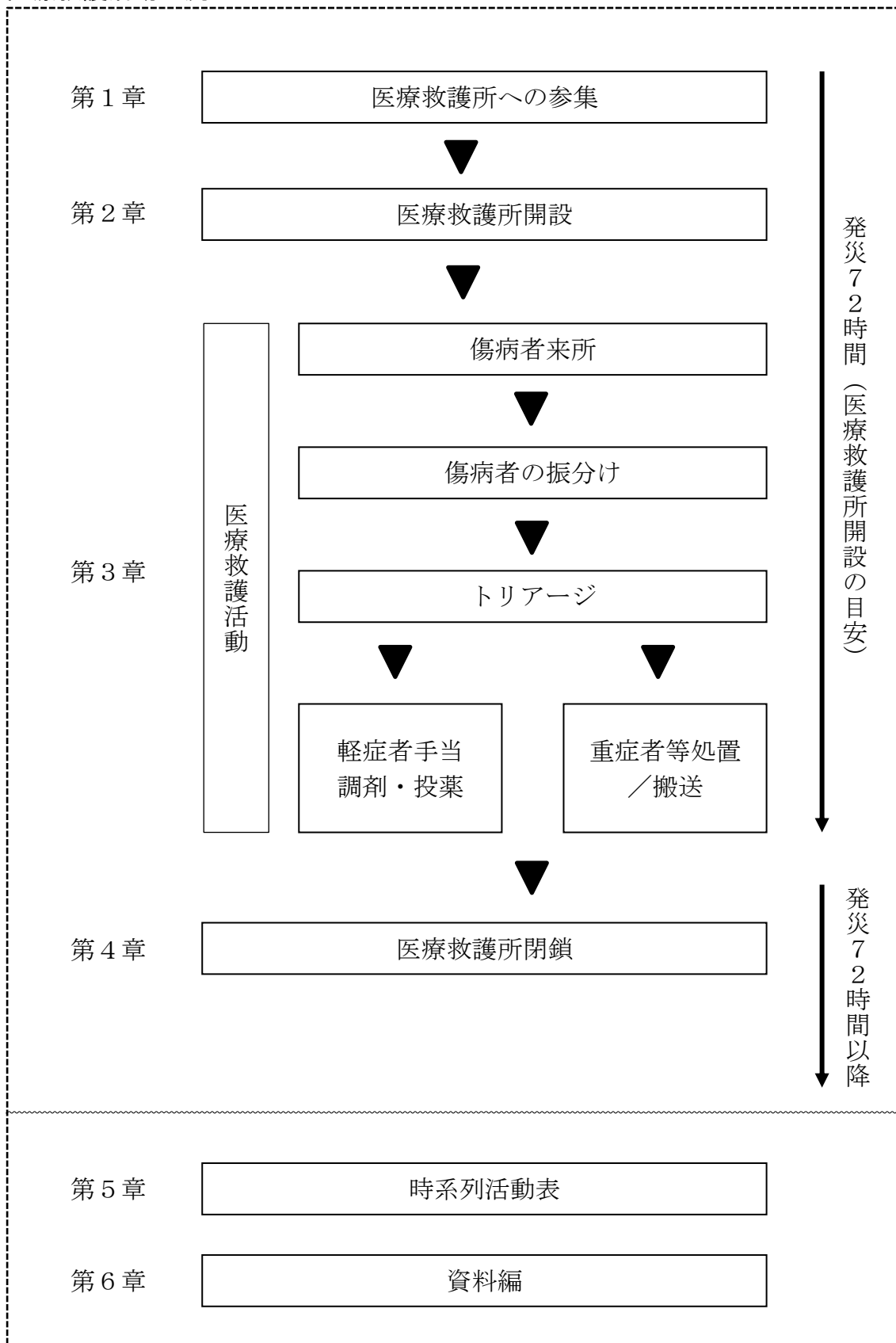
平成 31 年 3 月

練馬区災害医療運営連絡会

目次

医療救護活動の流れ	1
災害医療の7つのキーワード	2
医療救護活動の指揮命令系統図	3
第1章 医療救護所への参集	4
1 参集条件	4
2 参集準備	5
3 責任者の決定	5
4 医療救護所の運営従事者	6
第2章 医療救護所開設	7
1 施設の安全確認	8
2 医療救護所の開設	8
3 開設等の報告	8
第3章 医療救護活動	9
1 傷病者来所	10
2 傷病者の振分け	10
3 トリアージ	11
4 軽症者手当／調剤・投薬	14
5 重症者等処置／搬送	15
6 記録場所運営	16
第4章 医療救護所閉鎖	17
1 医療救護所の閉鎖	17
第5章 時系列活動表	18
四師会の時系列活動表	18
第6章 資料編	22
1 連絡先一覧	22
2 医療救護所の運営様式（様式1～9）	25
3 医療救護所配置図	35
4 備蓄医薬品等一覧表	36

医療救護活動の流れ



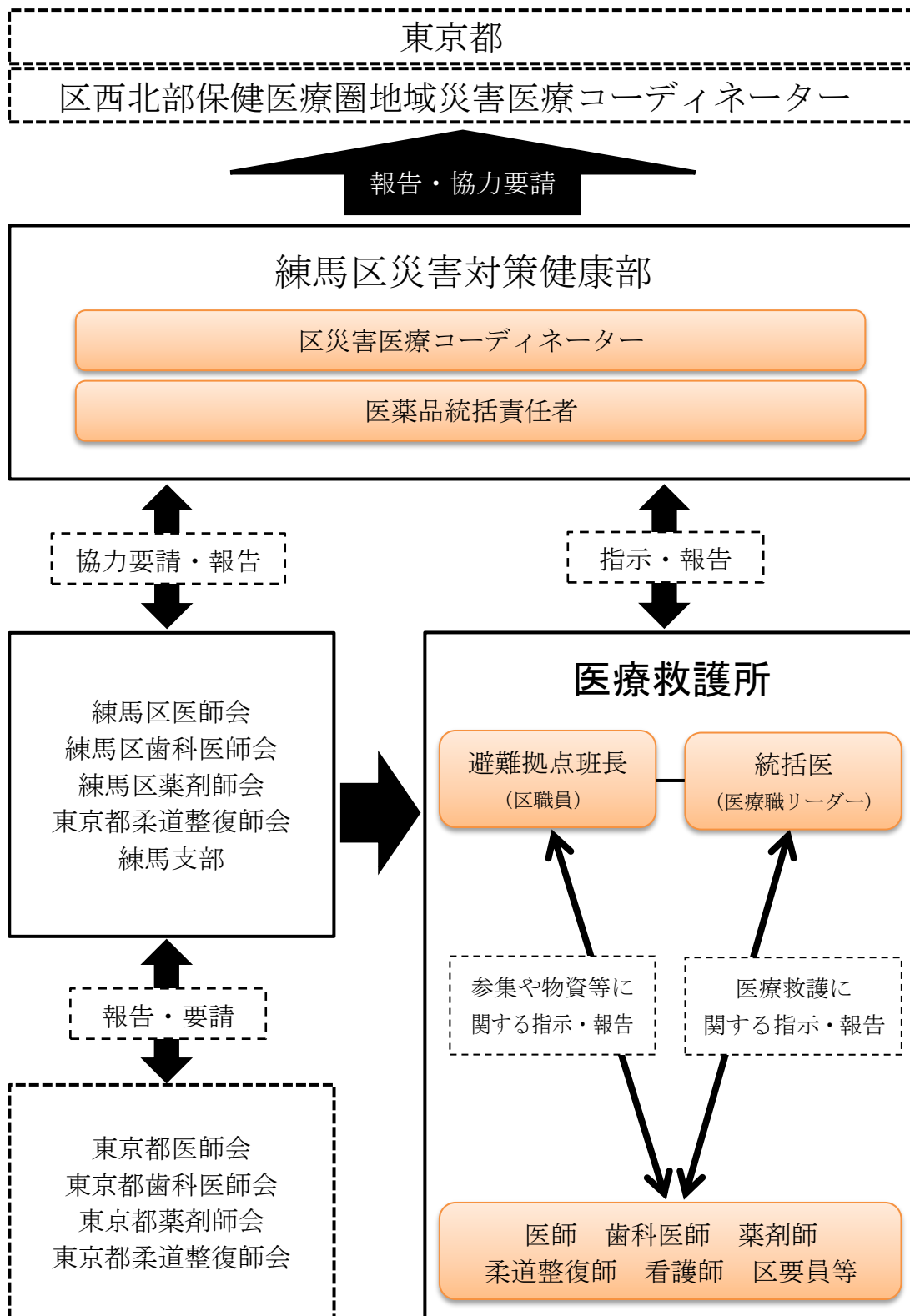
災害医療の実践として大切なキーワードとして「CSCATTT」というものがあります。多数傷病者が発生する事故の際に医療従事するものが対応するための戦術的な実践方法を示した言葉です。この活動マニュアルはこのキーワードを基本に作成しています。

災害医療の7つのキーワード（東京都福祉保健局トリアージハンドブックより）

組織体制	C	Command&Control	指揮命令系統・統制
	S	Safety	安全確保
	C	Communication	優先情報の確認・収集、意思疎通、情報伝達
	A	Assessment	評価・判断
医療支援	T	Triage	トリアージ
	T	Treatment	治療
	T	Transport	搬送

- 「C」…災害発生時の急性期に迅速な医療活動を行うためには、組織化された指揮命令系統の確立が混乱を防ぎ、組織間の相互協力体制を確立します。
- 「S」…安全に活動できないと判断される場合は、関係機関へ通報するとともに、安全が確保されるまで現場から避難します。
- 「C」…テレビ、ラジオ、スマホなどを使用し、現状の把握、医療関係者・警察・消防・救援機関との意思疎通・情報伝達に努めます。
- 「A」…災害現場や現場救護所の状況、救護力や人的資源、医療資器材の備蓄状況などを判断します。
- 「T」…負傷者のトリアージを行い、応急処置の優先度（緊急度）や搬送順位を決定します。
- 「T」…トリアージで緊急度の高い傷病者から応急処理を行います。
- 「T」…搬送先医療機関の状況や収容力等を考慮し、後方搬送・広域搬送を行います。

医療救護活動の指揮命令系統図

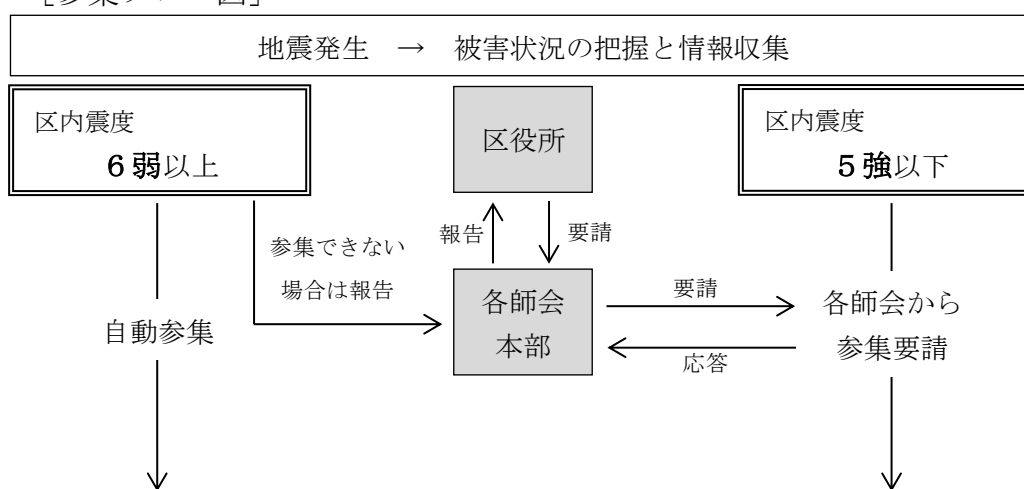


第1章 医療救護所への参集

1 参集条件

練馬区内で震度6弱以上の地震が発生した場合は、各師会要員は指定された医療救護所（区内10か所の小・中学校）へ自動参集します。震度5強以下の場合でも、災害対策健康部（練馬区）からの要請に基づき、各師会本部を通じて参集指示があります。自身が勤務する診療所等には、行先を掲示するなどして参集します。

[参集フロー図]



指定の医療救護所				
No.	医療救護所	所在地	電話番号	無線番号
1	旭丘中学校	旭丘2-40-1	3957-3133	ねりま 961
2	開進第三中学校	桜台3-28-1	3993-4265	ねりま 967
3	貫井中学校	貫井2-14-13	3990-6412	ねりま 972
4	練馬東中学校	春日町2-14-22	3998-0231	ねりま 971
5	光が丘第四中学校	光が丘2-5-1	3976-5891	ねりま 978
※	光が丘秋の陽小学校	光が丘2-1-1	3976-6331	ねりま 978
6	石神井東中学校	高野台1-8-34	3996-2157	ねりま 980
7	谷原中学校	谷原4-10-5	3995-8036	ねりま 985
8	大泉南小学校	東大泉6-28-1	3922-1371	ねりま 659
9	大泉西中学校	西大泉3-19-27	3921-7101	ねりま 989
10	石神井西中学校	関町南3-10-3	3920-1034	ねりま 981

※平成31年4月より光が丘第四中学校から光が丘秋の陽小学校へ指定変更。

なお、参集にあたっては、自身の安全はもちろん、家族の安全確保に努めてください。参集することが困難な場合には、各師会本部に連絡し、対応方法について指示を仰いでください。

避難拠点要員は、参集後、以下の名簿を作成します。

- ① 避難拠点要員の参集簿（様式1）
- ② 参集する四師会の要員の参集簿（様式2）

2 参集準備

参集にあたっては、活動しやすい服装で、最低限の食料などを持参します。医療救護所の開設期間の目安は概ね72時間で、要員の交代やローテーションも行う予定です。

3 責任者（統括医）の選定

避難拠点要員の班長が医療救護所の運営の中心となりますが、医療救護活動の責任者は、医療救護班の統括医が担います。統括医はトリアージ、応急処置、災害時医療機関への転送など医療に関することの指示を行います。各師会は、医療救護活動の指揮命令権者である統括医の指示がうまく伝わるよう各師会内でもそれぞれ責任者（リーダー）を決定します。

なお、統括医の選定は、参集した医師の中から決め、一人勤務の場合は、そのまま統括医となります。

[統括医の役割]

医療救護活動の指揮命令権者。主な役割は以下のとおり。

- 各師会のリーダーと医療救護所内での活動内容について確認・調整する。
- 各持ち場に人員を割り振る。

（第2章 「2 医療救護所の開設準備」の例を参照）

- 誰がどの傷病者を治療するのか指示する。
- 各師会のリーダーに災害対策健康部からの情報を伝達する。
- 医療救護班の初日の24時間の交替勤務枠（8時間/1名当たり）を作る。
また遅れて参集した医師を順次勤務枠に割付け、8時間勤務後にはその内容を次の統括医に業務引継ぎする。
- 他の各師会リーダーへも同様に交替シフトの作成を呼びかける。

[避難拠点班長の役割]

医療救護所を含む避難拠点全体の責任者。主な役割は以下のとおり。

- 発災時に学校を開錠する。
- 避難拠点および医療救護所要員の参集者を確認し、区要員等の人員の割り振りをする。
- 避難拠点および医療救護所を開設する。

○避難拠点および医療救護所の開設について、災害対策本部ならびに災害対策健康部に報告する。

○統括医と連携し、重症者の搬送等の調整を災害対策健康部と行う。

○避難拠点および医療救護所の閉鎖について、災害対策本部ならびに災害対策健康部と協議する。

4 医療救護所の運営従事者

医療救護所において、医療救護活動等の従事者は次のとおりです。

従事者	説明
避難拠点要員（区職員）	近隣在住または近隣施設職員
避難拠点要員（学校職員）	避難拠点となる学校職員
医師会	近隣診療所等の医師
歯科医師会	近隣歯科診療所の歯科医師
薬剤師会	近隣薬局の薬剤師
柔道整復師会	近隣接骨院の柔道整復師
医療救護所医療従事スタッフ※	区内および近隣に在住・在勤の(准)看護師
避難拠点運営連絡会	避難拠点の運営連絡会の区民

避難拠点要員は、医療救護所の従事者名簿（様式1、様式2）をまとめ、災害対策健康部に従事者の参集状況を報告します。

※医療救護所医療従事スタッフ：

震度6弱以上の地震が発生した際に、医療救護所で活動する（准）看護師のこと。本人確認や看護師資格の確認が済んでいる者には、下記の登録者カードを発行しており、持参し、提示することで参集と同時に活動に入れることになっています。

医療スタッフカードイメージ

<オモテ>	<ウラ>
	<ol style="list-style-type: none"> 自分や家族等の安全が確保できたら、このカードを持って医療救護所にお集まりください。（服装自由） 医療救護所では、医師の指示のもと軽症者に対する応急処置をお願いします。 わからないことがありましたらご連絡ください。 <p style="text-align: right;">練馬区 Tel. 03-3993-1111（代表）</p>

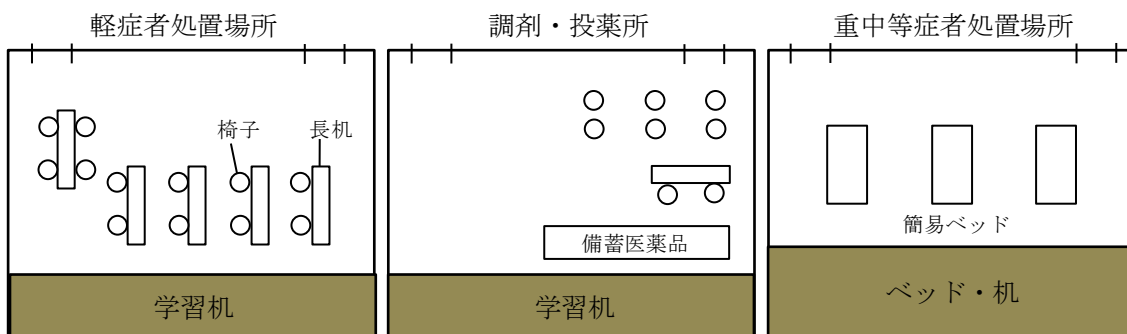
第2章 医療救護所開設

震度6弱以上の地震が発生！

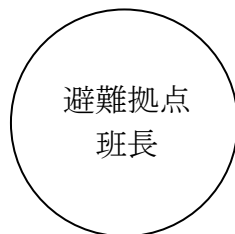


医療救護所運営従事者が自動参集

- 1 施設の安全確認
- 2 医療救護所の開設準備
(医療救護所で使用する教室等例)



- 3 開設等の報告



防災無線（ねりま 712）



報告



1 施設の安全確認

区内震度5弱以上の地震が発生すると、避難拠点要員(区職員・学校職員)等(以下、「区要員等」という。)が指定された小中学校に参集します。夜間等で学校が閉校している際には、学校関係者または班長が開錠し、施設の立ち上げ準備を行います。その場合、区要員等はあらかじめ定められた医療救護所として使用する体育館や教室棟等が使用できるかの安全確認をします。

2 医療救護所の開設準備

施設の安全確認が完了すると、区要員等は避難拠点および医療救護所の開設のための準備を始めます。

医療救護所には、次のような場所を設置します。

(傷病者振分け場所 軽症者処置場所 トリアージ場所
重・中等症者処置場所 調剤・投薬所 記録場所)

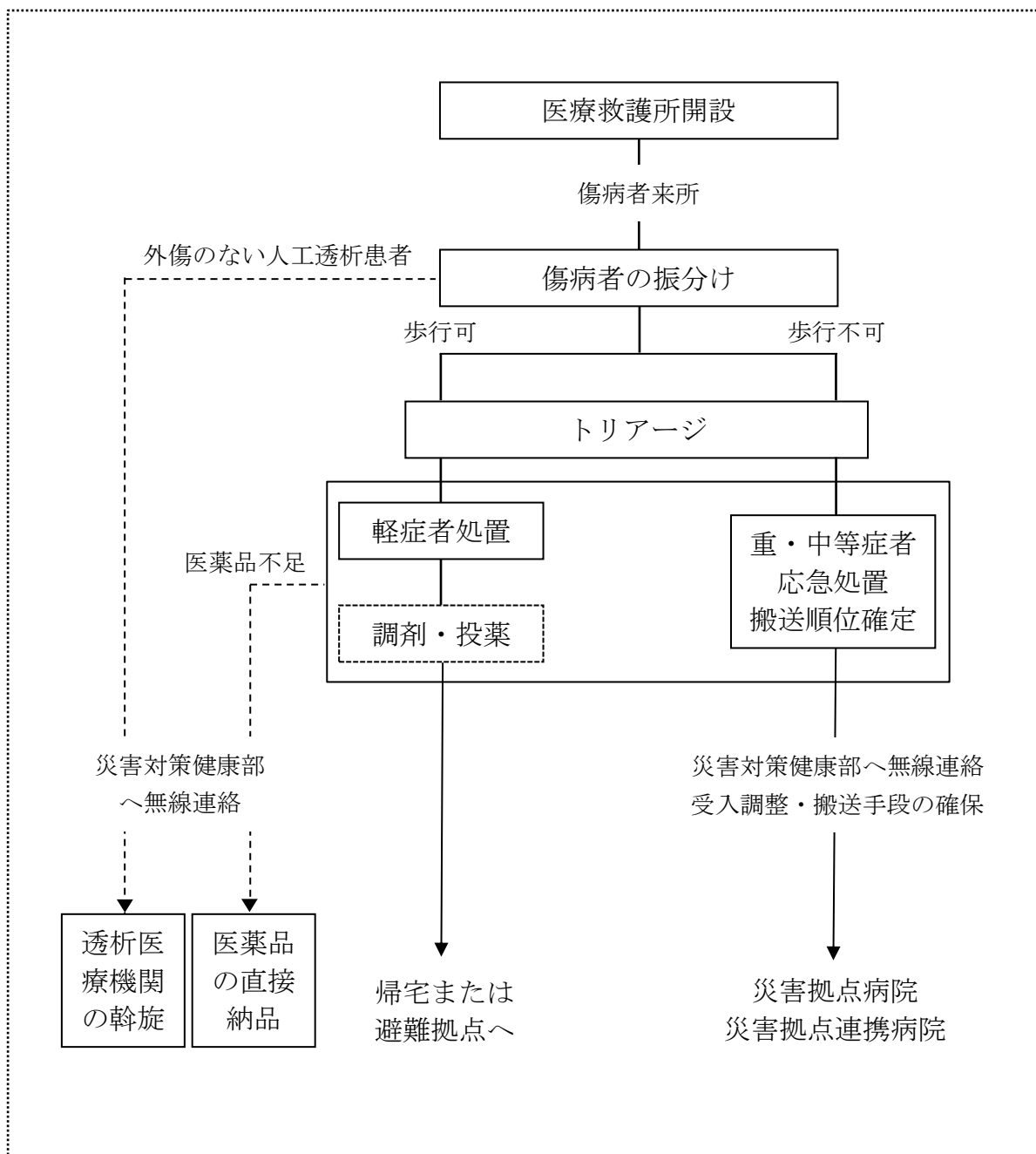
医療救護班班員は、ストレッチャーや車椅子通行のスペースを確保するなど動線等にも配慮し、区要員等の設営に助言をします。薬剤師班は、備蓄医薬品を医療救護所備蓄庫から取り出し、「調剤・投薬所」や「重中等症者待機場所」に配備します。

3 開設等の報告

班長は、医療救護所が開設したことを防災無線により災害対策健康部へ連絡するよう区要員に指示します。その際、あわせて参集人員数、傷病者数なども連絡します。(様式3)(様式4)

※災害対策健康部 無線番号「ねりま712」

第3章 医療救護活動



1 傷病者来所

東京都の被害想定によると、多摩直下地震（M7クラス）が起こった場合、練馬区内では、最大5,389名の負傷者が発生するとしています。およそ1割の重症者は、災害拠点病院や災害拠点連携医療機関で治療を行います。残りの9割は、災害医療支援医療機関および医療救護所で対応します。11の災害医療支援医療機関および10の医療救護所で対応すると仮定して、医療救護所1か所当たり230～250名程の傷病者の来所が予想されます。

区要員等は、来所した避難者をケガの有無により避難場所または医療救護所へそれぞれ案内、誘導します。（→P22 資料編 災害時医療機関参照）

2 傷病者の振分け

来所した傷病者を、区要員等を中心に軽症者と重症者等に振り分けます。振分けの基準は歩行の可否によります。歩行ができる軽症者については、トリアージ場所へ案内します。歩行できない重症者等については、医療救護所に配備されている担架、防災会資器材庫に配備されているレスキューカー等、あるいは肩をかしながら、保健室などのトリアージ場所へ移送します。

※透析患者への対応

医療救護所で透析患者を受け入れた場合、かかりつけ透析医療機関や次回の透析の予定等を聴取します。その後、災害対策健康部が透析医療機関の受入状況を照会し、そこまでの通院手段について検討します。自力での通院が不可能な場合は、まず、かかりつけ透析医療機関や平常時に利用している搬送団体へ連絡してもらいます。通院手段が確保できない場合には、災害対策健康部を通じて、通院手段を確保します。

3 トリアージ

START 式トリアージを用い、軽症者においては、治療の優先順位付けや容態変化患者の発見、重症者等においては、災害拠点病院等へ搬送する順位を確定し、応急処置へと移ります。トリアージの担い手は、医師や看護師、歯科医師をはじめとする医療職です。

<記入について>

トリアージは、傷病者の症状の程度により、重症者から災害時医療機関へ搬送し治療を行うためのものです。2人1組となり、トリアージタグに、まずは次の事項を記入します。

① 氏名	傷病者に尋ねて記入
② 年齢	
③ 性別	
④ トリアージ日時	
⑤ トリアージ実施者氏名	



次にトリアージを実施し、次の事項を記入します。





⑥ トリアージ区分
⑦ トリアージ実施者（医師、救急救命士、その他）



可能であれば、症状・傷病名や裏面の特記事項も記入します。



そして、症状により次の色タグを点線から切り離します。

判断	タグの色	
死亡	黒	
重症	赤	
中等症	黄	
軽症	緑	

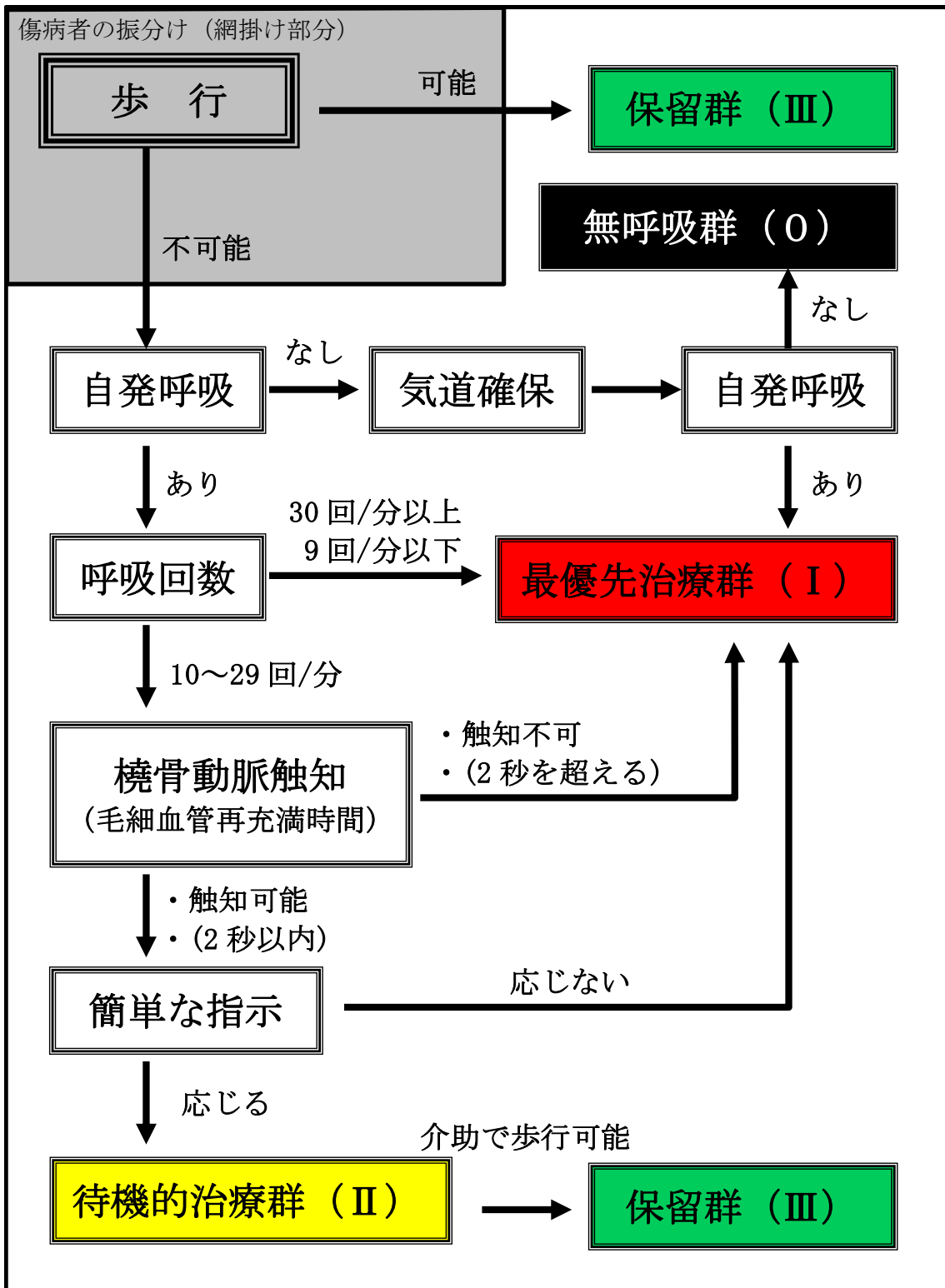
この判断は、START 式トリアージ法に基づき判断します。



トリアージタグは原則として右手首につけます。この部分が負傷している場合には、左手首、右足首、左足首、首の順でつける部位を変えます。決して衣類や靴等にはつけないようにします。

最後に、表面の1枚目（災害現場用）シートを切り離し、切り離した色タグとともにトリアージタグを管理する記録場所に渡します。

START 式トリアージ法



トリアージタグイメージ (表)

(災害現場用)			
No.	氏名 (Name)	年齢 (Age)	性別 (Sex) 男 (M) 女 (F)
住 所 (Address)		電 話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 月 日 AM PM 時 分		トリアージ実施者氏名	
搬送機関名		収容医療機関名	
トリアージ実施場所	トリアージ区分 ○ I II III		
トリアージ実施機関	医 師 救急救命士 そ の 他		
症状・傷病名			
特記事項			

※複写式です。1枚目「災害現場用」、2枚目「搬送機関用」、3枚目「収容医療機関用」の3枚構成です。

トリアージタグイメージ (裏)

特記事項		
バイタルサイン		
意識	I (1-2-3)	II (10-20-30) III (100-200-300)
呼吸	/分	呼吸困難 左右差あり(右→左→)
脈拍	/分	総頸・橈骨・大腿(強い・弱い)
皮膚	色(蒼白・普通) 温度(冷・普通・温) 状態(湿潤・普通)	
血圧	/ mmHg	リファリングタイム 2秒以上・2秒未満

4 軽症者手当／調剤・投薬

(1) 軽症者手当

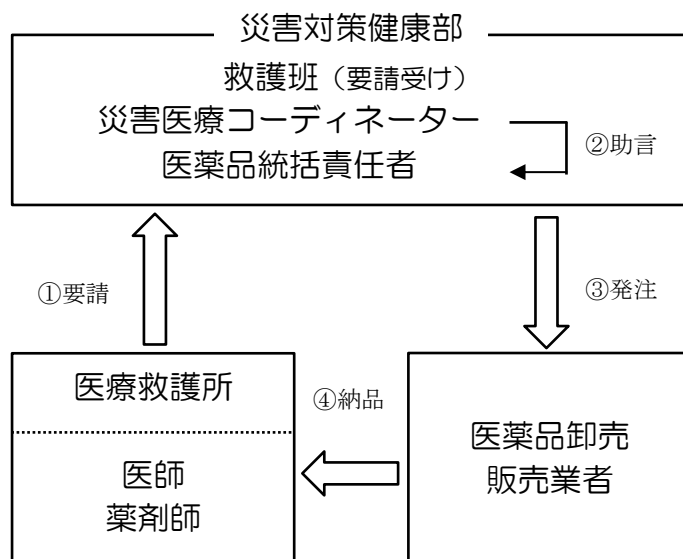
トリアージの結果、軽症（緑色）と判断された方に対して、医師の指示のもと四師会要員が中心となって応急手当を行います。応急手当を行う際には、トリアージタグの記入に加えて、災害用カルテにも同時に記入します。（様式5）

記録場所の区要員は、軽症者一覧（様式7）の作成を行います。

(2) 調剤・投薬

各医療救護所には、患者約250人分を目安として医薬品が備蓄されています。（→P36 資料編 備蓄医薬品等一覧表）

薬剤師班は処方箋（様式6）にもとづき、調剤・投薬を行います。医療救護所の活動を行うための医薬品が不足した場合は、災害対策健康部へ補充要請を行います。災害対策健康部には、薬剤師会長が医薬品統括責任者として参集し、医薬品調達に関して練馬区災害医療コーディネーター※とともに調整をします。その後、医薬品卸売販売業者に発注し、直接、医療救護所に医薬品等を納品します。薬剤師班は補充された医薬品を受け入れたのち、医薬品の管理等を引き続き行います。



※練馬区災害医療コーディネーター

区内に震度6弱以上の大地震が発生した場合、災害医療コーディネーターは災害対策健康部（区役所）に参集し、活動を開始することとしています。

練馬区災害医療コーディネーターが行う主な業務は以下のとおりです。

- (1) 医療救護班等の活動に関する助言および調整を行うこと。
- (2) 医療救護所の開設、運営に関する助言および調整を行うこと。

- (3) 医薬品等の確保に関する助言を行うこと。
- (4) 傷病者の収容先医療機関の確保に関する助言および調整を行うこと。
- (5) 東京都地域災害医療コーディネーター等との連絡調整に関すること。
- (6) その他災害医療に関すること。

5 重症者等処置／搬送

- (1) 傷病者の振分けで歩行ができなかった傷病者については、トリアージ、応急手当を経て、災害拠点病院等へ搬送します。

【トリアージ】

重症者（赤色）、中等症者（黄色）と判断された方々の災害時医療機関への搬送順位を、重症度や専門治療の必要性により、決定します。



【災害時医療機関への受入れ要請】

班長は、通信担当を通じて災害対策健康部に対して、重症者や中等症者の受入れ調整や搬送手段の確保を要請します。



【搬送】

担架、レスキューカーまたは車両を活用し搬送します。区要員、学校要員、また、民間救急事業者の協力を得ながら行います。



【名簿作成】

重症者（赤色）、中等症者（黄色）の名簿（様式8）を記録場所において作成し、誰がどこの災害時医療機関へ搬送されたのかをトリアージタグの1枚目（災害現場用）や搬送者カード（様式9）を用いて記録します。

【区外への患者移送】

区内の災害時医療機関で受入が困難な場合は、災害対策健康部で他区の医療機関への移送を要請します。

- (2) 派遣医療チームの要請

医療救護所の対応が現状のスタッフでは十分にできない場合、班長または統括医は、災害対策健康部または練馬区災害医療コーディネーターに応援の要請を行います。

6 記録場所運営

記録場所の主な従事者は、避難拠点要員（区要員）等です。

まず、ホワイトボード等記入や貼付ができるものを用意します。担当業務は以下の通りです。

(1) 用意したホワイトボード等に時系列で出来事を記入していきます。

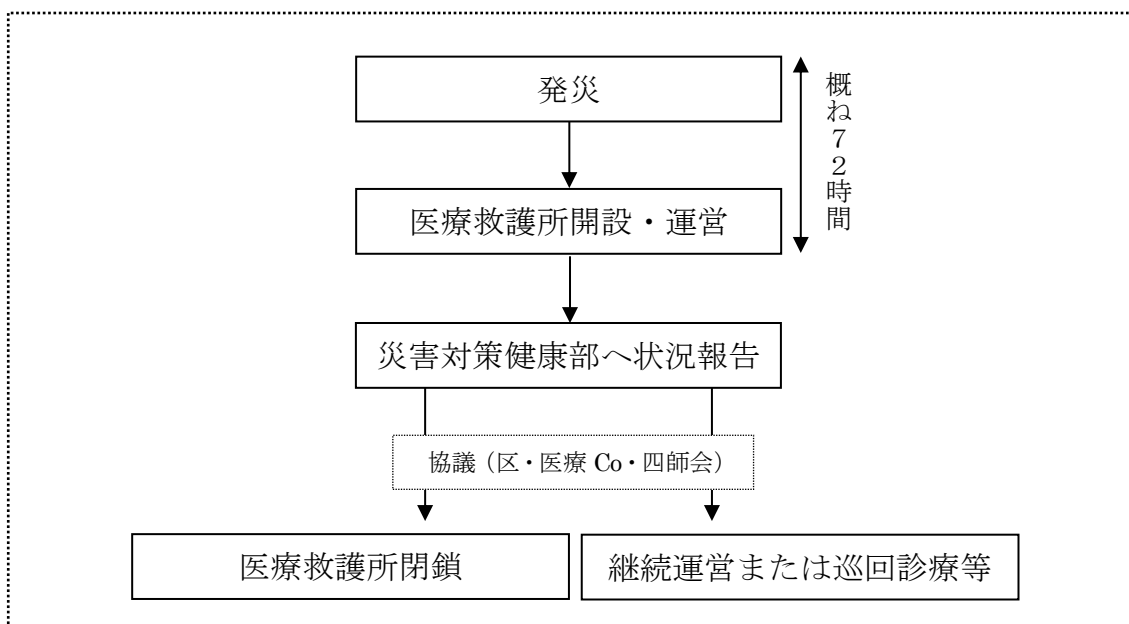
【例】08：00 発災（震度6強）、10：00 医療救護所開設 等

(2) トリアージの際に、剥がし取られるトリアージタグの1枚目（災害現場用）の内容を傷病者受付一覧（様式7、様式8）に転記し、傷病者の受付と把握をします。転記が終了したトリアージタグの1枚目は、ホワイトボード等に貼付します。

(3) 手当が完了した後、軽症者はトリアージタグ本体と、また重中等症者は搬送者カード（様式9）と、それぞれ転記した傷病者受付一覧を照合し、一覧の消込みをします。それにより、傷病者の手当の状況を把握します。

(4) 消込みが完了したら、貼付されたトリアージタグの1枚目とトリアージタグ本体または搬送者カードをひとまとめにして保管します。

第4章 医療救護所閉鎖



1 医療救護所の閉鎖

医療救護所は発災直後から概ね72時間開設されます。その後、災害対策健康部の指示に従い、医療救護所は閉鎖します。しかし、区が区災害医療コーディネーター等と協議し、必要と判断した場合は、被害の大きな地域の医療救護所にスタッフや医薬品等を集約するなど再編成して継続します。

その際、72時間以降の活動（避難拠点等に避難している方々の巡回診療や健康相談を行う場合も含む）に関しては、区が災害時の医療救護活動についての協定にもとづき四師会と協議し要員の派遣要請を再度行います。

また、傷病者へは、再開した近隣の医療機関（医院、歯科医院、接骨院、薬局）も案内します。

第5章 時系列活動表

四師会の時系列活動表

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
発災直後から参集まで	<ul style="list-style-type: none"> ・指定場所へ参集および本部への報告 ・「区災害医療コーディネーター（会長）」の災害対策健康部への参集 ・医療救護所の開設 ・医療救護班の統括医（医療職リーダー）を選任 ※医療救護班は参集後直ちに72時間の勤務表（8時間交替）を作成する。第一勤務枠に複数医がいる場合は統括医を選任する。一人医師の場合はそのまま統括医になる。 ・治療器材の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定場所へ参集および本部への報告 ・医療救護所の開設 ・リーダー選出と役割決め ・治療器材の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定場所へ参集および本部への報告 ・医薬品統括責任者（会長）の災害対策本部への参集 ・医療救護所の開設 ・リーダー選出と役割決め ・備蓄医薬品の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定場所へ参集および本部への報告 ・医療救護所の開設 ・リーダー選出と役割決め ・衛生材料の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◆震度6弱以上で自動参集。5強以下であっても区からの要請があれば参集する。 ◆区災害医療コーディネーター（医師会会長、2拠点病院医師、保健所長）は、上記条件に従い参集する。

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
超急性期 (72時間まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 ・傷病者の応急処置 ・傷病者の搬送順位確定と搬送指示 ・死亡の確認 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など)が必要と判断した場合、統括医は避難拠点班長(区職員)へ災対本部への調整を要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 ・口腔内以外の簡易な応急処置 ・歯科治療を要する傷病者の応急処置 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など) ・検視・検案の法歯学上協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 ・軽症者の応急処置 ・傷病者に対する調剤・服薬指導 ・医薬品の供給(区を通じて薬剤師会、薬業協同組合、医薬品卸売販売業者に不足した医薬品の調達を依頼する) ・医薬品の仕分けと管理 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所の運営 ・トリアージの実施 人員が不足した場合は、傷病者振分けを行う ・医師の指示に従った負傷者に対する応急手当 ・手当に必要な衛生材料等の確保と管理ならびに労務の提供 ・医療救護所の必要に応じた運営体制の見直し(増員や勤務交代など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆避難拠点の班長が救護所の施設管理責任者。 医療上の運営は、統括医(医療職リーダー)が責任者となる。 ◆災害対策健康部は、収集した情報を基に区災害医療コーディネーターの助言を踏まえ医療救護方針を定める。 ◆災害対策健康部は各情報を災対本部に報告するとともに、医療救護所、四師会、災害時医療機関等に伝達する。 ◆区災害医療コーディネーターは、区西北部医療コーディネーターに伝達し、応援要請や傷病者の収容・搬送を調整する。 ◆災害対策健康部は医療ボランティアの受付や救護所等への派遣を調整する。 ◆区外の派遣医療チームを要請する。

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
急性期 (72時間以降)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療、健康相談等の実施 ・治療が必要な人には再開した近隣の医療機関をあわせて紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療救護班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療（歯科治療・衛生指導）、健康相談等の実施 ・診療が必要な人には再開した近隣の歯科医院をあわせて紹介 ・検視・検案の法歯学上協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療、健康相談等の実施 ・必要な人には再開した近隣の薬局をあわせて紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復師班の再編成または解散 ・避難拠点等における巡回診療や定点診療（応急手当、治療、リハビリ。マッサージやストレッチ等の施術やエコノミークラス症候群の防止活動など）、健康相談等の実施 ・必要な人には再開した近隣の整復師医院をあわせて紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害時の医療救護所への四師会からの派遣は72時間で一旦終了する。72時間以後の対策が必要な場合は、区は区災害医療コーディネーター、四師会等と協議をする。 ◆災害対策健康部は、収集した情報を基に区災害医療コーディネーターの助言を踏まえ医療救護方針を定める。

	医療救護班	歯科医療救護班	薬剤師班	柔道整復師班	備考
その他	<p>〔その他の参集〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点連携医療機関と専門医療拠点病院へ指定された医師会員はそれぞれ参集。 (P22 災害時医療機関一覧を参照) ・災害拠点連携医療機関と専門医療拠点病院に参集する医療救護班員の活動は当該病院長と協議して実施 	<p>〔練馬区歯科医師会災害対策本部の設置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の歯科活動を統括する災害時体制組織を設置 〔避難拠点・福祉避難所における活動〕 ・区の保健師等で編成する保健班が避難所等の歯科情報を把握し、歯科医師会に診療の要請。歯科医療救護班は歯科診療にあたる。 〔災害時の練馬つつじ歯科休日急患診療所〕 ・災害時は通常診療を臨時休止し、「災害時訪問歯科診療事務局」を設置 ・一般歯科診療所の被災状況や患者情報を把握 ・在宅療養者等への訪問歯科診療の提供を実施 〔身元確認への協力〕 ・遺体安置所となる体育館等に身元不明遺体が発生した場合、身元確認班は警視庁の指示のもと検視の確認作業に協力 	<p>〔医薬品の調達の流れ〕</p> <p>医療コーディネーターおよび医薬品統括責任者の判断のもと</p> <p>第一要請先：薬剤師会/薬業協同組合</p> <p>第二要請先：医薬品卸売販売業者</p> <p>第三要請先：東京都 〔医薬品の搬送体制〕</p> <p>医療救護所等に搬送する場合は、緊急通行車両等の各自の車両を使い搬送</p> <p>物理的に通行不可能の場合などは、災害対策本部に要請</p>	<p>〔東京都柔道整復師会練馬支部の災害対策本部設置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の柔道整復師、会員を統括する災害時体制組織を設置 ・各医療救護所の柔道整復師班から医療救護所情報を把握 <p>① 衛生材料の在庫状況</p> <p>② 班員の活動状況</p> <p>③ 近隣接骨院の開設状況等</p>	<p>◆各師会は、72 時間の救護体制が維持できるように、交代勤務の要員を調整する。</p>

第6章 資料編

1 連絡先一覧

(1) 区・四師会

区分	名称	所在地	電話番号	無線番号
区	災害対策本部	区役所本庁舎 7階	-	ねりま 100
	災害対策健康部	区役所東庁舎 6階	5984-4673	ねりま 712
四師会 本部	医師会	高野台 2-23-20	3997-7500	ねりま 861
	歯科医師会	豊玉北 6-5-13	3557-0045	ねりま 353
	練馬つつじ歯科休日急患診療所	豊玉北 6-12-1	3993-9956	
	薬剤師会	富士見台 3-56-3	5848-4450	ねりま 354
	柔道整復師会	東大泉 6-50-9	3922-2911	ねりま 351

(2) 災害時医療機関 (22 医療機関)

区分	No.	名称	所在地	電話番号	無線番号
災害 拠点病院	1	順天堂練馬病院	高野台 3-1-10	5923-3111	ねりま 851
	2	練馬光が丘病院	光が丘 2-11-1	3979-3611	ねりま 871
災害拠点 連携 医療機関	1	練馬総合病院	旭丘 1-24-1	5988-2200	ねりま 872
	2	浩生会スズキ病院	栄町 7-1	3557-2001	ねりま 873
	3	大泉生協病院	東大泉 6-3-3	5387-3111	ねりま 874
	4	川満外科	東大泉 6-34-46	3922-2912	ねりま 875
	5	田中脳神経外科病院	関町南 3-9-23	3920-6263	ねりま 876
	6	辻内科循環器科歯科クリニック	大泉学園町 8-24-25	3924-2017	ねりま 407
災害医療 支援 医療機関	1	島村記念病院	関町北 2-4-1	3928-0071	—
	2	保谷病院	南大泉 4-50-15	3924-3258	—
	3	東大泉病院	東大泉 7-36-10	3924-5820	—
	4	関町病院	関町北 1-6-19	3920-0532	—
	5	東京聖徳病院	北町 3-7-19	3931-1101	—
	6	慈雲堂病院	関町南 4-14-53	3928-6511	—
	7	陽和病院	大泉町 2-17-1	3923-0221	—
	8	豊島園大腸肛門科	春日町 4-6-14	3998-3666	—
	9	阿部クリニック	桜台 2-1-7	3992-1103	—
	10	練馬駅リハビリテーション病院	練馬 1-17-1	3557-2611	—
	11	ねりま健育会病院	大泉学園町 7-3-28	5935-6102	—
専門医療 拠点病院	1	東海病院 (透析)	中村北 2-10-11	3999-1131	—
	2	久保田産婦人科病院 (産科)	東大泉 3-29-10	3922-0262	—
	3	大泉病院 (精神)	大泉学園町 6-9-1	3924-2111	—

(3) 透析医療機関 (11 医療機関)

No.	名称	所在地	電話番号
1	高松病院	高松 6-4-23	3997-1171
2	練馬中央診療所	豊玉北 5-32-8	3991-9655
3	腎クリニック高野台	高野台 1-3-7	5910-3121
4	練馬桜台クリニック	豊玉北 4-11-9	5999-0723
5	優人クリニック	田柄 2-52-10	5383-6760
6	練馬高野台クリニック	高野台 1-8-15	5372-6151
7	優人大泉学園クリニック	東大泉 1-28-7	3867-5510
8	大泉学園クリニック	東大泉 5-40-24	5947-5681
9	武蔵野総合クリニック練馬	練馬 1-26-1	3993-7015
10	優人上石神井クリニック	上石神井 1-13-13	5903-3630
11	石神井公園じんクリニック	石神井町 7-2-5	3995-0725

(4) 医薬品卸売販売業者 (7 事業者)

No.	名称	所在地	電話番号
1	アルフレッサ(株) 練馬支店	杉並区井草 3-20-5	3301-6011
2	(株)スズケン 練馬支店	高野台 2-3-17	5923-0861
3	東邦薬品(株) 練馬・板橋営業所	谷原 1-9-3	3997-3211
4	(株)メディセオ 練馬支店	向山 1-11-13	5987-0861
5	酒井薬品(株) 中野営業所	中野区鷺宮 3-47-1	3337-8021
6	(株)バイタルネット 東京中央支店	板橋区泉町 40-1	5916-1800
7	(株)マルタケ 東京支店	豊島区南大塚 1-2-7	5976-3200

(5) その他の連絡先

No.	名称	所在地	電話番号	FAX 番号	無線番号
1	防災センター	本庁舎 7 階			ねりま 1 0 0
2	健康推進課 (庶務班)	東庁舎 6 階	5984-2482	5984-1211	
3	保健予防課 (予防班)	東庁舎 6 階	5984-1017	5984-1211	ねりま 7 1 1
4	地域医療課 (救護班)	東庁舎 6 階	5984-4673	5984-1211	ねりま 7 1 2
5	豊玉保健相談所	豊玉北 5-15-19	3992-1188	3992-1187	ねりま 5 0 1
6	北保健相談所	北町 8-2-11	3931-1347	3931-0851	ねりま 5 0 2
7	光が丘保健相談所	光が丘 2-9-6	5997-7722	5997-7719	ねりま 309#2
8	石神井保健相談所	石神井町 7-3-28	3996-0634	3996-0590	ねりま 5 0 3
9	大泉保健相談所	大泉学園町 5-8-8	3921-0217	3921-0106	ねりま 5 0 4
10	関保健相談所	関町東 1-27-4	3929-5381	3929-0787	ねりま 5 0 5
11	中村南スポーツ交流センター	中村南 1-2-32	3970-9651	3970-9653	
12	平和台体育館	平和台 2-12-5	5920-3411		
13	上石神井体育館	上石神井 1-32-37	5991-6601	5991-6604	
14	大泉学園体育館	大泉学園町 5-14-24	5905-1161	5905-1166	
15	桜台体育館	桜台 3-28-1	3992-9612	3992-9612	
16	練馬消防署	豊玉北 5-1-8	3994-0119	3994-0480	ねりま 8 0 1
17	光が丘消防署	光が丘 2-9-1	5997-0119	5998-2404	ねりま 8 0 2
18	石神井消防署	下石神井 5-16-8	3995-0119	3995-2168	ねりま 8 0 3
19	練馬警察署	豊玉北 5-2-7	3994-0110		ねりま 8 1 1
20	光が丘警察署	光が丘 2-9-8	5998-0110		ねりま 8 1 2
21	石神井警察署	石神井町 6-17-26	3904-0110	3904-0850	ねりま 8 1 3

避難拠点要員 参集簿

_____ 医療救護所

	氏名	所属	参集時間	特記事項
1			:	
2			:	
3			:	
4			:	
5			:	
6			:	
7			:	
8			:	
9			:	
10			:	

_____ 班（ _____ 会） 参集簿

_____ 医療救護所

	氏名	診療所名等	参集時間	特記事項
1			:	
2			:	
3			:	
4			:	
5			:	
6			:	
7			:	
8			:	
9			:	
10			:	

FAX送信先：03-5984-1211

被害状況等報告書

練馬区災害対策健康部あて

報告日時	年 月 日 時 分
医療救護所名	_____学校医療救護所
報告者氏名	

1 建物の被害状況

施設の状況	倒壊 ・ 一部倒壊 ・ 被害なし
医療救護所の使用可否	可 ・ 不可
医療救護所の開設	済 ・ 未済
使用できるライフライン	電気 ・ 水道 ・ その他 ()
使用可能な情報設備	電話 ・ 防災無線 ・ 電子メール (PC) ・ 他 ()

2 人的被害 (_____ 時現在の傷病者の状況)

(1) トリアージの実施状況

済	未済	計
人	人	人

(2) トリアージ実施済者の内訳

死亡 (黒)	重症 (赤)	中等症 (黄)	軽症 (緑)
人	人	人	人

3 参集状況

避難拠点 要員	学校 要員	運営 連絡会	医療救護 所要員	医療 救護班	歯科医療 救護班	薬剤師班	柔道 整備師班
人	人	人	人	人	人	人	人

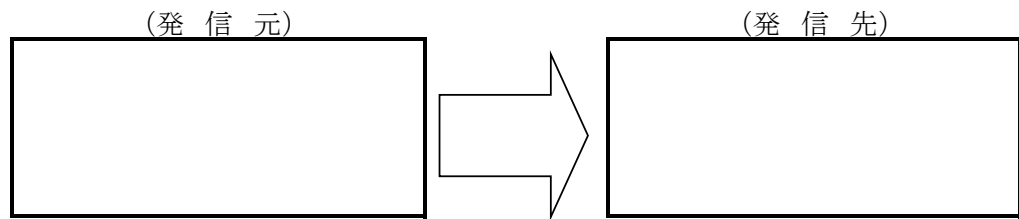
4 不足物資・応援等の要望

--

5 その他報告事項 (備考欄)

--

通信記録票



発信日時	年 月 日 午前・午後 時 分	
通信方法	・電話 ・災害伝言ダイヤル ・電子メール ・FAX ・防災無線	
	その他	
記録作成者	所属	
	氏名	
要望		
課題		
意見・報告		

災害用カルテ

年 月 日

トリアージタグ&番号 赤 黄 緑 NO		トリアージタグ記載者・場所・機関	
メディカルID			
フリガナ	男		保険者番号
氏名	女		記号・番号
生年月日	M T S H	年 月 日 ()歳	携帯電話番号
住 所	自宅	健在 半壊 全壊	
	<input type="checkbox"/> 避難所1	<input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車内 <input type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> 避難所2	<input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> テント <input type="checkbox"/> 車内 <input type="checkbox"/> その他	
職 業	連絡先(勤務先・学校等)		連絡先なし 孤立
禁忌事項等 <input type="checkbox"/> アレルギー <input type="checkbox"/> 禁忌食物 特記事項(常用薬等) <input type="checkbox"/> 抗血小板薬() <input type="checkbox"/> 抗凝固薬 <input type="checkbox"/> ワーファリン () <input type="checkbox"/> 糖尿病治療薬 <input type="checkbox"/> インシュリン <input type="checkbox"/> 経口薬 <input type="checkbox"/> ステロイド() <input type="checkbox"/> 抗てんかん薬() <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> HOT <input type="checkbox"/> 災害時要援護者(<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 傷病者 <input type="checkbox"/> 日本語が不自由な外国人)			
フォローアップ <input type="checkbox"/> 必要(身体的/精神的/衛生的/その他)			
傷病名	開始	診察場所	所属・医師サイン
	年 月 日		

年 月 日

メディカルID											
氏名						生年月日 性別		M T S H 年 月 日 歳 男 女			
バイタルサイン		意識障害 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		呼吸数 /min		脈拍 /min		整 不整		血压 / mmHg	
		体温 °C		身長 cm		体重 kg					
既往歴		<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> その他()						妊娠 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有			
予防接種歴		<input type="checkbox"/> 麻疹 <input type="checkbox"/> 破傷風 <input type="checkbox"/> インフルエンザ <input type="checkbox"/> 肺炎球菌									
主訴											
<input type="checkbox"/> 痛み (<input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 胸部痛 <input type="checkbox"/> 腹痛 <input type="checkbox"/> その他()) <input type="checkbox"/> 熱発 _____ 日 <input type="checkbox"/> 咽頭痛 <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 呼吸苦 <input type="checkbox"/> 食思不振 <input type="checkbox"/> 下痢 _____ 日 (<input type="checkbox"/> 水様便 <input type="checkbox"/> 血便) <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 皮膚症状 <input type="checkbox"/> 眼の症状 <input type="checkbox"/> 耳の症状 <input type="checkbox"/> 外傷 ⇒黄色タグ以上は外傷カルテへ <input type="checkbox"/> その他											
診断			<input type="checkbox"/> 処置あり <input type="checkbox"/> 処置なし				処方 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有				
#1			<input type="checkbox"/> 創処置(軽微) <input type="checkbox"/> 創処置(深い) <input type="checkbox"/> 注射 <input type="checkbox"/> 点滴 <input type="checkbox"/> その他 *その場の処置としての <input type="checkbox"/> 外用 <input type="checkbox"/> 内服 創 <input type="checkbox"/> 清潔 <input type="checkbox"/> 不潔				#1				
医師サイン			看護師サイン				薬剤師サイン				

※この災害用処方せんは医療救護所内の調剤所用です。

災害用処方せん

医療救護所の名称

所属する医療機関名称

処方医師氏名

患者	氏名				男・女
	明・大・昭・平		年	月	日生
交付年月日		年 月 日			
処方					
備考	投与日数 / 1日 ・ 2日 ・ 3日 ・ 4日 /				
調剤済年月日	年 月 日			調剤した薬剤師氏名	
薬剤師の所属する組織の名称または連絡先					

学校 医療救護所 重症者・中等症者一覧

様式8

No.	氏名	年齢	性別	住所	電話	トリアージ実施							収容医療機関名	症状・傷病名	特記事項		
						実施日時	実施氏名	区分変更				実施機関					
								0(黒)	I(赤)	II(黄)	III(緑)	医師				救急救命士	その他
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														
			男・女														

搬送者カード

- ① 医師の診断が終わったら、タグの情報をカードに記入します。
- ② 患者が待機しているベッドにセロハンテープで張り付け、診察済みであることを周知します。
- ③ 患者が搬送されたら、このカードを記録場所に渡します。

1 トリアージタグのNO _____

2 氏名 _____

3 性別 男 ・ 女 _____

4 年齢 才 _____

5 搬送先医療機関名 _____

※ 搬送先が決まったら記入します。

6 搬送済かどうか 済 _____

※ 医療機関へこの患者が搬送された場合は「済」に○を付け、記録場所に渡します。

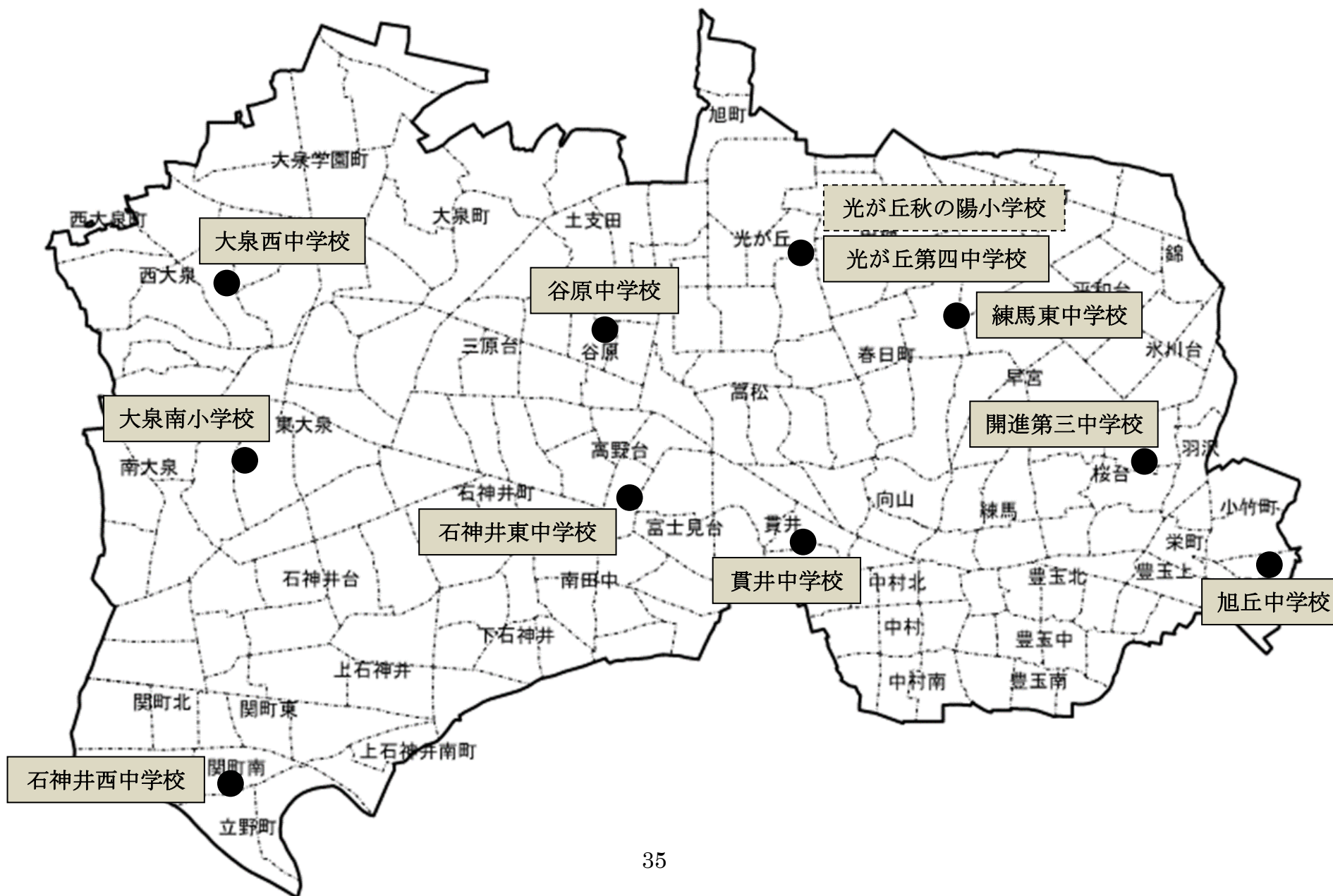
7 この票の記入者氏名等記入欄□

所属: _____

氏名: _____

3 医療救護所配置図

※光が丘第四中学校医療救護所は平成 31 年 4 月より光が丘秋の陽小学校（光が丘 2-1-1）へ指定変更。



4 備蓄医薬品等一覧表

医療資材7点セット滅菌詰替品目一覧表 1号

No.	区分	品名	規格 / 仕様	単位	数量	殺菌	有効
		BC 診断用具	BC-2001-ST3-DX				
1	診断用具	聴診器	リットマン型DX	個	1		4
2		〃	〃 ST	〃	3		4
3		血圧計	電子式	〃	1		電池2
4		〃	携帯用	〃	3		4
5		打診器	米式	〃	4		
6		バイトステック	板状舌圧子	〃	4	○	
7		体温計	電子式	〃	1		電池2
8		〃	平型(水銀)	〃	3		
9		ペンライト	携帯用	〃	4		電池2
10		懐中電灯	単二2個用	〃	4		電池2
11		メジャー	2m ロータリー	〃	4		
		BC 識別連絡用具	BC-2010-100/300				
12	識別連絡用具	連絡カード	救急用	枚	300		6
13		ボールペン	黒	本	10		2
14		識別バンド	赤・黄・緑	〃	300		4
15		サインペン	赤・黒	〃	各10		2
16		メモ用紙	救急用	冊	10		6
		BC 蘇生用具	BC-2020-DX-3-SD				
17	蘇生器用具	デマンド蘇生器	DR-300	台	1		書替2
18		手動式人工蘇生器	成人用 AB-01	組	2		
19		〃	新生児用 IB-01	〃	1		
20		人工呼吸用マウスシート	レサシエード(PORTEX)	個	4		2
21		蘇生チューブ	口対口	〃	3		
22		エアウェイ	経口用	〃	9		
23		〃	経鼻用	〃	9	○	2
24		清浄綿	25包入り	包	2	○	2
			BC 吸引用具	BC-2030-DX3-SD			
25	吸引器用具	吸引器	足踏式	個	1		
26		〃	手動式	〃	3		
27		サクシオンカテーテル	Fr12, 14, 18	本	各3	○	2
28		〃 コネクター	3m/m、5m/m	〃	4	○	6
29		ネラトンカテーテル	外径3mm, 4mm, 5mm	〃	各6	○	2
30		バルンカテーテル	カフ付	〃	3		2

2号

No.	区分	品 名	規 格 / 仕 様	単位	数量	殺菌	有効
		BC 気管挿管用具	BC-2040-DX3				
31	気管挿管用具	喉 頭 鏡	成人用	組	2		電池2
32		"	小児用	"	1		電池2
33		気管内チューブ	内径7mm, 8mm, 9mm	本	6	○	2
34		"	小児用	"	3	○	2
35		スタイレット	大・小	"	2	○	
36	気管挿管用具	マギル鉗子	ステンレス	本	1		
37		舌 鉗 子	コラン氏式	"	3	○	
38		開 口 器	エルマル式	個	3	○	
39		バイトブロック	大・小	"	6	○	6
40		カフポンプ	20ml	"	1		
41		カフシリンジ	30ml	"	1		
42		チューブ鉗子	ステンレス	本	1		
43		サージカルテープ	50mm×9m	巻	6		2
44		舌 圧 子	板状	枚	6	○	
45		バイトスティック	板状舌圧子	個	3	○	
		BC 気管切開用具	BC-2050-ST3-DX				
46	気管切開用具	気管切開セット※	BC-2052-DX	組	1	○	
47		気管切開チューブ	成人用	個	3	○	2
48		"	小児用	"	3	○	2
49		トラヘルパー	セット	"	3	○	2
50		カフシリンジ	30ml	"	1		
51		注 射 器	5ml, 10ml	本	8	○	2
52		サージカルテープ	50mm×9m	巻	8		2
			BC 外科用具	BC-2060-ODX3-DX4			
53	外科用具	縫合切開セット※	BC-2060-DX	組	4	○	
54		外科ホルスターセット※	BC-2061-ODX	"	3	○	
55		注 射 器	2.5ml 針付	本	25	○	2
56		"	5ml 針付	"	30	○	2
57		"	10ml 針付	"	20	○	2
58		"	20ml 針なし	"	15	○	2
59		"	30ml 針なし	"	10	○	2
60		注 射 針	21G	"	15	○	2
61		"	23G	"	15	○	2
62		駆 血 帯	マジックテープ	"	5		2
63		シ ャ ー レ	ステンレス	枚	3		
64		膿 盆	ステンレス	"	3		
65		消 毒 パ ッ ト	37 ステンレス	"	2		

3号

No.	区分	品 名	規 格 / 仕 様	単位	数量	殺菌	有効
	気管挿管用具	BC 輸液用具	BC-2070-DX30-F10				
66		輸血セット	ディスポ	個	10	○	2
67		輸液セット	〃	〃	20	○	2
68		輸液セット小児用	〃	〃	6	○	2
69		翼付針	18, 21, 23G	本	30	○	2
70		静脈留置針	チューブ付	〃	20	○	2
71		カテラン針	23G	〃	20	○	2
72		点滴用副子	3号	個	3		2
73		S字フック	輸液用	個	10		
74		輸液ローブ	輸液用	本	1		6
75		チューブ鉗子	ステンレス	〃	1		
		切静脈	BC 静脈切開用具	BC-2080-DX3			
76	静脈切開セット※		BC-2082-DX	組	3		
	ス ペ ー ス 薬 品	BC 薬品スペース	BC-2090-DX2				
77		瓶立	BC-BK-DX	個	1		
	調 剤 用 具	BC 調剤用具	BC-2100-ST3				
78		薬匙	三ツ組	個	1		
79		軟膏ペラ	中	〃	3		
80		液量計	小	〃	1		
	眼 科 用 具	BC 眼科用具	BC-2110-DX30-SD				
81		眼科治療セット※	BC-2111-SD	組	1	○	
82		眼帯	ガーゼ付	個	30		
83		洗眼瓶	100cc	〃	3		4
84		受水器	ステンレス	〃	3		
	耳 鼻 科 用 具	BC 耳鼻科用具	BC-2120-DX3-SD				
85		耳鼻科治療セット※	BC-2121-SD	組	1	○	
86		額帯鏡	BC-ST	個	1		
87		舌鉗子	コラン氏	〃	3		6
88		噴霧器	BC-DX	〃	1		
89		二連球	No. 6	〃	1		2

※セット品の内容物については、P42 参照。

4号

No.	区分	品名	規格 / 仕様	単位	数量	殺菌	有効
	婦人科用具	BC 婦人科用具	BC-2130-DX3				
90		臍帯クリップ	ディスポ	個	6		2
91		臍帯剪刀	ステンレス	本	1	○	
92		分娩バツク	ディスポ	組	3	○	2
	雑品消毒用具	BC 雑品消毒用具	BC-2140-SD7				
93		手洗ブラシ	台付	個	1		
94		石けん	ミューズ 固形	〃	1		6
95		携帯用消毒器	煮沸	〃	1		
96		固形燃料	中	〃	1		2
97		麦粒鉗子	ステンレス	本	1		
98		水筒	GI型	個	2		
99		水桶	折りたたみ	〃	2		
100		タオル	白	枚	7		6
101		シート	BC ビニール	〃	7	○	2
102		レスキューシート	救急アルミックシート	〃	7	○	4
103		カンテラ	折りたたみランタン	個	1		
104	ロソク	ライター付	〃	7		4	

5号

No.	区分	品名	規格 / 仕様	単位	数量	殺菌	有効
105	雑品消毒用具	寝袋	3シリーズ	個	1		6
106		手術衣セット	不織布	組	7		6
107		手術手袋	各サイズ	双	42	○	2
108		サチライト	単一 6個用	個	2		電池2

6号

No.	区分	品名	規格 / 仕様	単位	数量	殺菌	有効
		BC 包帯材料用具	BC-2150-SD300				
109	包帯材料用具	救急絆	S, M, Lサイズ	箱	3		2
110		滅菌ガーゼ	サージカルドレッシング	枚	200	○	6
111		綿棒	50本入	包	3		4
112		清浄綿	25包入り	〃	3	○	2
113		三角巾	105×105×105	枚	30	○	6
114		耳付包帯	3裂×3	本	11		6
115		〃	4裂×4	〃	10		6
116		〃	5裂×5	〃	9		6
117		サージカルテープ	12mm×9m 24巻入り	箱	3		2
118		〃	50mm×9m 6巻入り	〃	3		2
119		ネット包帯	手指用	〃	7		6
120		〃	頭部(肩、胸)用	〃	7		6
121		弾性包帯	5cm	個	7		4
122		〃	7.5cm	〃	7		4
123		〃	10cm	〃	7		4
124		雑剪刀	ステンレス	本	3		
125		エコノシアーズ	万能バサミ(BC-2020ES)	〃	1		
126	リングカッター	U・S・A	〃	1			

7号

No.	区分	品名	規格 / 仕様	単位	数量	殺菌	有効
	止血用具	BC 止血用具	BC-2170-D×10				
127		三角巾	105×105×105	枚	10	○	6
128		止血棒	救急用	本	10		
129		止血帯	マジックテープ	〃	4		2
130		傷票	白	枚	10		6
131		ボールペン	黒	本	1		2
	骨折固定用具	BC 骨折固定用具	BC-2180-SD10				
132		アルミシ―ネ	手指用	枚	21		4
133		板状副木	上肢用	〃	14		
134		針金副子	下肢用	〃	6		
135		エアシ―ネ	四肢用	〃	3		4
136		ソフトシ―ネ	下肢用	〃	6		4
137		巻軸包帯	手指用	巻	4		6
138		三角巾	105×105×105	枚	49	○	6
139		ペンチ	副子用	個	1		

※セット品内容物

No.	区分	品名	規格／仕様	単位	数量
4 6	気管切開セット	持針器	16cm	本	1
		コッヘル鉗子	14.5cm 有鉤	本	2
		ペアン鉗子	14.5cm 無鉤	本	2
		直剪刃	14cm	本	1
		曲剪刃	14cm	本	1
		ピンセット	13cm 有鉤	本	1
		ピンセット	13cm 無鉤	本	1
		メス	円刃刀	本	1
		メス	尖刃刀	本	1
		針付縫合糸	外科針シルクブレード [®]	本	3
		単鋭鉤	17cm	本	2
		扁平鉤	5×17cm	本	2
		注射器	針付 10ml	本	1
		注射器	針付 5ml	本	1
		注射針	ディスポ [®] 23G	本	1
		カテラン針	ディスポ [®] 23G	本	1
		滅菌ガーゼ	サージカルト [®] レッシング [®]	枚	10
穴明布	白	枚	1		
手術手袋	7号、7.5号	双	各1		
5 3	縫合切開セット	持針器	16cm	本	1
		コッヘル鉗子	14.5cm 有鉤	本	4
		ペアン鉗子	14.5cm 無鉤	本	4
		モスキート鉗子	曲 無鉤	本	1
		直剪刃	14cm	本	1
		曲剪刃	14cm	本	1
		ピンセット	13cm 有鉤	本	2
		ピンセット	13cm 無鉤	本	2
		外科ゾンデ	18cm	本	1
		外科ゾンデ	有溝	本	1
		メス	円刃刀	本	2
		メス	尖刃刀	本	2
		縫合糸	シルクブレード 30	本	10
		縫合糸	シルクブレード 20	本	10
		縫合糸	シルクブレード 1	本	10
		縫合針	外科強 1	本	10
		縫合針	外科強 3	本	10

No.	区分	品名	規格/仕様	単位	数量
5 3	縫合切開セット	縫合針	外科強 5	本	1 0
		針付縫合糸	外科針シルクプレート [®]	本	1 0
		扁平鉤	5×17cm	本	2
		注射器	針付 10ml	本	1
		注射器	針付 5ml	本	1
		注射針	ディスポ [®] 23G	本	1
		カテラン針	ディスポ [®] 23G	本	1
		滅菌ガーゼ	サージカルト [®] レッシング [®]	枚	1 0
		穴明布	白	枚	1
		三角巾	105×105×150	枚	1
		手術手袋	7号、7.5号	双	各1
5 4	外科ホルスター セット	持針器	16cm マッチュー	本	2
		コッヘル鉗子	14.5cm 有	本	1
		ペアン鉗子	14.5cm 無	本	1
		直剪刀	14cm	本	1
		ピンセット	13cm 無	本	1
		ピンセット	トゲ抜兼用	本	1
		外科ゾンデ	15cm	本	1
		外科ゾンデ	15cm 有	本	1
		替刀メス	円刀尖刀	枚	2
		メスホルダー	No3	本	1
		針付縫合糸	外科針シルクプレート [®]	枚	3
		単鋭鉤	17cm	本	1
滅菌ガーゼ	サージカルト [®] レッシング [®]	枚	5		
7 6	静脈切開セット	持針器	16cm マッチュー	本	1
		コッヘル鉗子	14.5cm 有鉤	本	2
		ペアン鉗子	14.5cm 無鉤	本	1
		モスキート鉗子	曲 無鉤	本	1
		曲剪刀	14cm	本	1
		ピンセット	13cm 有鉤	本	1
		ピンセット	13cm 無鉤	本	1
		メス	尖刃刀	本	1
		針付縫合糸	外科針シルクプレート [®]	本	3
		二双鉤	鈍鉤	本	2
		注射器	針付 10ml	本	1
		注射器	針付 5ml	本	1
注射針	ディスポ [®] 23G	本	1		

No.	区分	品名	規格／仕様	単位	数量
76	静脈切開セット	カテラン針	ディスポ [®] 23G	本	1
		滅菌ガーゼ	サージ [®] カト [®] レッシング [®]	枚	10
		穴明布	白	枚	1
		手術手袋	7号、7.5号	双	各1
81	眼科治療セット	眼帯	ガーゼ付き	個	2
		開眼器	デスマル	本	2
		点眼棒	色分	本	3
		点眼瓶	ケース入	個	3
		眼科ケース		個	1
85	耳鼻科治療セット	舌圧子	板状	枚	2
		鼻鏡	ハルトマン	本	1
		耳鏡	3ツ組	本	3
		咽頭捲綿子	ハルトマン	本	1
		耳鼻捲綿子	ルツエ	本	3
		耳鼻用ピンセット	無鈎	本	1
		鼻用消息子	銀先	本	1
		咽頭鏡	3ツ組	本	3

備蓄医薬品一覧

No.	区分	品名	容量	単位	数量※ ()は石東、光四中	RS
1	消毒液	5%ヒビテン液	500ml	本	2	
2		消毒用エタノール	500ml	本	4	
3		イソジンスクラブ液7.5%	500ml	本	2	
4		オキシドール	500ml	本	2	
5		ウエルパス手指消毒液0.2%	500ml	本	1	
6		次亜塩素酸ナトリウム	500ml	本	1	
7	鎮痛・鎮静剤	ソセゴン注15mg		管	40	
8		ネオフィリン注250mg		管	150	
9		ボルタレンサポ25mg		個	150(250)	○
10		アンヒバ坐剤小児用100mg		個	300(450)	○
11		ロキソニン錠60mg		錠	600(900)	○
12		カロナール錠200mg		錠	1,800(3,000)	○
13		セルタッチパップ70		枚	700	○
14		デパス錠0.5mg		錠	300(800)	○
15		レンドルミンD錠0.25mg		錠	100	○
16		フェノバル注10%		管	20	
17		インテバン坐薬50		個	50	
18		バファリンA		錠	80	
19		ブスコパン錠10mg		錠	400	
20		アタラックスP注		管	20	
21	アトロピン硫酸塩注		管	20		
22	抗強 血心 小板利 尿剤	ソル・コーテフ注100mg		瓶	10	
23		ラシックス注20mg		管	20	
24		ラシックス錠20mg		錠	100	○
25		バイアスピリン錠100mg		錠	100	○
26		テラプチク静注45mg		管	60	
27	テラプチク筋注30mg		管	20		

No.	区分	品名	容量	単位	数量※ ()は石東、光四中	RS
28	止血麻酔剤	キシロカイン注1%		管	20	
29		キシロカイン注ポリアンブ1%		管	10	
30		キシロカイン注ポリアンブ2%		管	20	
31		キシロカインゼリー2%		本	4	
32		アドナ注(静脈用)50mg		管	20	
33		トランサミン注10%		管	20	
34	血圧昇圧剤	ノルアドレナリン注1mg		管	20	
35		プロタノールL注0.2mg		管	20	
36		エホチール注10mg		管	20	
37		ボスミン注1mg		管	10	
38	補液剤	ブドウ糖注5%PLフソー	500ml	本	4	
39		生理食塩液バッグフソー	500ml	本	4	
40		ラクトリンゲル液	500ml	本	4	
41		ラクテック注	500ml	袋	20	
42		生理食塩液「ヒカリ」	100ml	本	100	
43	抗菌剤	ゲンタシン軟膏0.1%		本	20(30)	○
44		セフゾン細粒小児用10%		包	120	○
45		フロモックス錠100mg		錠	100	○
46	消化器官用剤	ビオフェルミンR錠		箱	6	
47		ナウゼリン錠10mg		錠	600	○
48		タケプロンOD錠15mg		錠	100	○
49		ラキシベロン内用液0.75%		本	10	○
50		グリセリン浣腸液(50%・60ml)		本	10	○
51	呼吸器官用剤	サルタノールインヘラー100μg		箱	5	
52		シムジコートタービュヘイラー30吸引		箱	10	
53		メプチン錠50μg		錠	100	○

No.	区分	品名	容量	単位	数量※ ()は石東、光四中	RS
54	血管 拡張 剤	ノルバスク錠2.5mg		錠	100	○
55		ニトロール錠5mg		錠	200	
56		ニトロペン舌下錠0.3mg		錠	100	
57		フランドルテープS		枚	150	○
58	用 眼 剤 科	クラビット点眼液0.3mg		本	5	○
59		タリビット眼軟膏3.5g		本	10	○
60	内・ 外用 剤	メジコン錠15mg		錠	100	○
61		PL配合顆粒		包	500(1,000)	○
62		セレスタミン配合錠		錠	100(200)	
63		タリビット眼軟膏0.3%		本	10	
64		白色ワセリン	500g	個	1	
65		ソルベース	500g	個	1	
66		ソフラチュール貼付剤10cm		枚	100	
67		クロマイP軟膏		本	10	
68	リンデロンVG軟膏0.12%		本	10	○	
69	そ の 他	シップ固定用粘着シート		枚	2000	
70		サランラップ		本	20	
71		ニトリル手袋		双	150	
72		酸素ボンベ(の検査)	1500ℓ	本	3	
73		精製水	滅菌1000ml	本	10	